

令和4年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業計画書

I 基本方針

本財団は、平成26年4月1日の設立以来、8年の間に市民主体の幅広い国際交流活動を積極的に実施し、国際都市鹿児島の発展に寄与してきました。

コロナ禍においても多くの市民が、国際交流や外国の文化などに関心を持ち、3千人を超える外国人が住む本市では、本財団の取組がますます重要になっています。

令和2年4月からは「かごしま国際交流センター」の交流施設部分の指定管理者として管理運営を行っており、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で事業の中止、延期や施設の利用休止などを余儀なくされましたが、様々な対策を行うことにより安全な事業の実施や施設の貸出しを進めています。今後も万全の注意を払いながら責務を果たしてまいります。

また、令和4年度を初年度とする第六次鹿児島市総合計画に合わせて、中長期的な視点に立ち、より実効性の上がる事業を展開することとしております。

これらのことを踏まえ、令和4年度におきましても、本財団の設立目的を達成するために定款に定められた「①国際交流の推進」、「②国際理解の推進」、「③国際協力の推進」、「④多文化共生の地域づくりの推進」、「⑤鹿児島市国際交流センターの管理運営」に係る各種事業に、賛助会員をはじめ多くの市民や在住外国人、関係団体の方々と連携を深めながら積極的に取り組んでまいります。

II 事業計画

1 国際交流の推進

(1) 市民と在住外国人との交流促進事業

○在住外国人との歓迎交流会

新入在住外国人の歓迎やかごしま国際交流センターの居住留学生と市民との交流を図る場を提供することを目的として、交流会を開催します。

○市民と在住外国人との1日ツアー

市民と在住外国人と一緒に鹿児島県内の史跡や観光施設等を巡りながら、鹿児島への理解とお互いの交流を深めてもらうことを目的として、日帰り旅行を実施します。

○在住外国人ホームビジット

在住外国人が日本人家庭を訪れ、日本の普段の生活文化を体験してもらうと同時に、受入家庭には外国出身者との交流を深めてもらうことを目的として、宿泊を伴わない短時間のホームステイを実施します。

(2) 市民と海外外国人等との交流促進事業

○かごしまアジア青少年芸術祭

青少年の国際性を育み、市民の国際交流意識の高揚を図ることを目的として、アジア各国・地域と鹿児島市の青少年が一堂に集い、音楽を中心とする芸術を通して交流を深める芸術の祭典を開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないため、オンラインでの交流イベントを実施します。

○姉妹友好都市等からの来訪者の受入れ対応

姉妹友好都市等からの来訪者の受入れに当たり、滞在中の交流の充実を図ることを目的として、市と連携してホームステイの斡旋や随行案内等を実施します。

(3) 国際交流人材の育成事業

○ボランティア勉強会

ボランティア活動者の技術向上及びボランティア活動者相互の連携強化を図ることを目的として、各種勉強会を開催します。

○運営ボランティアの活用【拡充】

事業運営に協力してもらうボランティアを募集し、運営に協力してもらうとともに、学生ボランティアや経験豊富なボランティアによる事業の企画も行います。

○国際交流団体との連携・意見交換会

国際交流に関する取組状況や課題などについての情報交換を行うとともに、国際交流団体との連携を図ることを目的として、意見交換会（事業実施委員会）を開催します。

○登録団体交流会

鹿児島市国際交流センターの登録団体の相互理解や連携を深めることを目的として、活動内容の紹介や意見交換の交流会を開催します。

2 国際理解の推進

(1) 市民の国際理解促進事業

○異文化体験講座

鹿児島に居ながらにして外国の文化を実体験し、異文化を理解してもらうことを目的として、在住外国人等を講師に招き、外国語を介した体験型講座を開催します。

○国際理解企画イベント

国際理解をより深めてもらうことを目的として、市国際交流アドバイザー（C I R）等による企画イベントを開催します。

○異文化紹介イベント

国際理解をより深めてもらうことを目的として、鹿児島大学留学生会による異文化紹介イベント等を支援します。

○絵本の読み聞かせ教室

感受性豊かな幼少期から国際分野に興味を持ってもらうことを目的として、多言語（英語、韓国語、中国語等）による絵本の読み聞かせを実施します。

○日本文化・郷土文化理解促進イベント

広く日本文化や実際に生活する鹿児島の文化への理解を深めてもらうことを目的として、体験型イベントを開催します。

○「ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略」関連事業

アジアへの理解を深め、交流を進めることを目的として、留学生等が講師になり、アジアの国々や文化を紹介するなどアジアに特化した事業を実施します。

○鹿児島市国際交流センター和室活用事業

日本文化を理解してもらうことを目的として、鹿児島市国際交流センター和室を活用したイベント等を実施します。

○鹿児島市国際交流センター調理室活用事業

食を通して外国及び日本に関する理解を深めてもらうことを目的として、鹿児島市国際交流センター調理室を活用したイベント等を実施します。

○国際理解や多文化共生等に関する講話【新規】

学生など市民が多文化共生等への理解を深めることを目的として、学校やその他の機関の要望に応じて本財団職員が講話などを行います。

○国際理解に関する認定制度の導入【新規】

学生など継続的に国際理解事業へ参加する人を増やすために、事業に多く協力しているボランティアや参加者等を認定する制度を導入します。

(2) 広報・情報発信事業

○多言語情報誌の発信

外国人の鹿児島に対する興味・関心の促進を図ることを目的として、市国際交流アドバイザー（C I R）や在住外国人の企画・編集により、時宜を得た旬の情報を多言語表記（英語、韓国語、中国語）で発信します。

○ホームページの多言語情報の提供【拡充】

本財団の事業や関係団体の情報等をより効果的に発信することを目的としてやさしい日本語を含む多言語によるホームページを作成し、情報の提供に努めてまいります。また、利便性の向上を図るため、自動翻訳機能を備えたホームページへのリニューアルを行います。

○各種イベントへの協力・広報活動

本財団の事業や関係団体の情報等をより効果的に発信することを目的として、他団体が実施するイベントへの協力及び展示物の出展などによる広報活動を実施します。

○広報誌（K I E Xなび）の発行

本財団事業に関する情報等をより効果的に発信することを目的として、広報誌（K I E Xなび）を発行します。

3 国際協力の推進

国際協力活動事業

○国際協力講演会

国際協力に対する理解・認識を深めてもらうことを目的として、有識者等を招き講演会を開催します。

○青年海外協力隊員報告会

国際協力や発展途上国等に対する理解を深めてもらうことを目的として、青年海外協力隊経験者を招き報告会を開催します。

○国際協力体験イベント・パネル展【拡充】

国際協力や発展途上国等に対する理解を深めてもらうことを目的として、国際協力機構（J I C A）等と連携し体験型講座やパネル展を開催します。

4 多文化共生の地域づくりの推進

(1) 多文化共生地域づくり推進事業

○在住外国人のための生活情報勉強会

鹿児島市での暮らしをサポートすることを目的として、日常生活に密着した各種情報を提供する勉強会を開催します。

○在住外国人のための防災意識啓発活動

鹿児島市で安全に暮らす上で必要な防災意識を啓発することを目的として、消防関係機関等と連携し、訓練や体験型講座等を実施します。

○子ども同士の異文化交流会

感受性豊かな幼少期に共生意識の醸成を図ることを目的として、さまざまな国籍の子

どもと一緒に楽しめる交流会を開催します。

○地域との連携事業

多文化共生の地域づくりを推進し、地域の共生意識の醸成を図ることを目的として、地域住民の日本人や外国人と連携したイベントを開催します。

(2) 在住外国人支援事業

○在住外国人のための日本語支援

日本で生活していく上で必要なコミュニケーション能力を高めることを目的として、マンツーマン方式により日本語習得の支援を実施します。

○日本語支援プロジェクトワーク

日本で生活していく上で必要なコミュニケーション能力を高めることを目的として、外国人と日本人のグループが課題となるテーマについて日本語で協議し、解決策を見出すプロジェクトワークを行います。

○日本語支援ボランティア養成

日本語習得を支援することを目的として、日本語支援ボランティアを養成する講座を開催します。

○外国人相談事業【拡充】

外国人の日本での生活に関する悩みの軽減を目的として、在住外国人が抱える問題に関し、各専門団体と連携した相談事業を実施します。また、外国人相談窓口を運営し、外国人からの生活に関する相談等に対応します。

○災害時外国人対応研修会

災害時における在住外国人の避難行動を支援することを目的とした研修会を開催します。

○災害時通訳ボランティアの登録・育成事業（地域防災計画関連）

災害時に多言語での情報発信や、在住外国人の支援を行う通訳ボランティアを登録・育成することを目的とした研修会や登録会を実施します。

○多言語交流会

在住外国人同士の連携を深め、協力体制の構築を図ることを目的として、共通の母語で意見交換できる言語別の交流会を開催します。

○テーマ別交流会

共通の悩みを持つ在住外国人同士が問題解決のきっかけづくりや交流を図ることを目的として、テーマ別の交流会を開催します。

5 鹿児島市国際交流センターの管理運営に関する事業

鹿児島市から管理受託した鹿児島市国際交流センターの指定管理者として、利用者が安全かつ快適に利用できるよう適切に維持管理を行うとともに、市民の平等利用、市民サービスの向上に努めます。合わせて、同センターを活用したイベントの実施や、研修室等の貸出しを通して、市民による国際交流事業等を促進します。

6 利用者サービス事業

館内に自動販売機を設置するなど、鹿児島市国際交流センター利用者の利便性を図る取組をします。

令和4年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支予算書			
I 収支予算書（正味財産増減計算書ベース）			
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで			
			(単位：千円)
科目	当年度	前年度	増減額
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	1,218	1,293	△ 75
賛助会員受取会費	1,218	1,293	△ 75
事業収益	749	708	41
事業収益	630	630	0
収益事業収益	119	78	41
受託事業収益	81,328	73,668	7,660
受託事業収益	3,913	0	3,913
指定管理受託事業収益	77,415	73,668	3,747
受取負担金	2,271	2,241	30
受取負担金	2,271	2,241	30
雑収益	16	6	10
雑収益	15	0	15
受取利息	1	6	△ 5
経常収益計	85,582	77,916	7,666
(2) 経常費用			
事業費	71,562	65,565	5,997
役員等報酬	1,427	1,427	0
給料手当	35,154	33,255	1,899
退職給付費用	853	825	28
福利厚生費	5,504	5,125	379
会議費	0	17	△ 17
旅費交通費	109	13	96
通信運搬費	629	476	153
減価償却費	258	257	1
消耗品費	1,303	1,772	△ 469
修繕費	22	0	22
印刷製本費	1,107	1,061	46
燃料費	28	0	28
光熱水料費	4,700	6,429	△ 1,729
使用料・賃借料	297	140	157
保険料	203	184	19
租税公課	4,363	4	4,359
手数料	152	135	17
報償費	2,211	2,204	7
負担金・補助金	2,784	2,764	20
委託料	10,458	9,477	981
管理費	14,307	12,637	1,670
役員等報酬	2,541	2,641	△ 100
給料手当	2,795	2,870	△ 75
福利厚生費	929	899	30
会議費	11	10	1
通信運搬費	497	598	△ 101
減価償却費	29	29	0
消耗什器備品費	193	0	193
消耗品費	572	616	△ 44
修繕費	238	585	△ 347
印刷製本費	633	646	△ 13
燃料費	3	35	△ 32
光熱水料費	521	713	△ 192
使用料・賃借料	1,232	1,219	13
保険料	6	6	0
租税公課	791	50	741
手数料	441	439	2
負担金・補助金	312	347	△ 35
委託料	2,563	934	1,629
経常費用計	85,869	78,202	7,667
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 287	△ 286	△ 1
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 287	△ 286	△ 1

科目	当年度	前年度	増減額
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 287	△ 286	△ 1
一般正味財産期首残高	6,075	6,361	△ 286
一般正味財産期末残高	5,788	6,075	△ 287
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000	3,000	0
指定正味財産期末残高	3,000	3,000	0
III 正味財産期末残高	8,788	9,075	△ 287

II 収支予算内訳表（正味財産増減計算書ベース）				
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで				
(単位：千円)				
科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	1,218			1,218
賛助会員受取会費	1,218			1,218
事業収益	630	119		749
事業収益	630			630
収益事業収益	0	119		119
受託事業収益	67,050		14,278	81,328
受託事業収益	3,671		242	3,913
指定管理受託事業収益	63,379		14,036	77,415
受取負担金	2,271			2,271
受取負担金	2,271			2,271
雑収益	1	15		16
雑収益	0	15		15
受取利息	1			1
経常収益計	71,170	134	14,278	85,582
(2) 経常費用				
事業費	71,488	74		71,562
役員等報酬	1,427			1,427
給料手当	35,154			35,154
退職給付費用	853			853
福利厚生費	5,504			5,504
会議費	0			0
旅費交通費	109			109
通信運搬費	629			629
減価償却費	258			258
消耗品費	1,303			1,303
修繕費	22			22
印刷製本費	1,107			1,107
燃料費	28			28
光熱水料費	4,685	15		4,700
使用料・賃借料	284	13		297
保険料	203			203
租税公課	4,330	33		4,363
手数料	139	13		152
報償費	2,211			2,211
負担金・補助金	2,784			2,784
委託料	10,458			10,458
管理費			14,307	14,307
役員等報酬			2,541	2,541
給料手当			2,795	2,795
福利厚生費			929	929
会議費			11	11
通信運搬費			497	497
減価償却費			29	29
消耗什器備品費			193	193
消耗品費			572	572
修繕費			238	238
印刷製本費			633	633
燃料費			3	3
光熱水料費			521	521
使用料・賃借料			1,232	1,232
保険料			6	6
租税公課			791	791
手数料			441	441
負担金・補助金			312	312
委託料			2,563	2,563
経常費用計	71,488	74	14,307	85,869
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 318	60	△ 29	△ 287
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 318	60	△ 29	△ 287

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	合計
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 318	60	△ 29	△ 287
他会計振替額	30	△ 30	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 288	30	△ 29	△ 287
一般正味財産期首残高	1,452	54	4,569	6,075
一般正味財産期末残高	1,164	84	4,540	5,788
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0
基本財産運用益	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000	0	0	3,000
指定正味財産期末残高	3,000	0	0	3,000
III 正味財産期末残高	4,164	84	4,540	8,788

資金調達及び設備投資の見込みについて
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

令和4年度中に借入れの予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

令和4年度中に設備投資の予定はありません。

以 上